

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:ボンセラプライマー

種類:合成樹脂エマルジョン系下地処理材

製造会社

会社名:AGCコーテック株式会社

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門:品質保証室 江澤 孝行

電話番号:03-5217-5104

FAX番号:03-5217-5106

緊急連絡電話番号:03-5217-5104

整理番号:2080100112307

用途:内外装壁面下地処理材

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

火薬類	:分類対象外
可燃性/引火性ガス	:分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	:分類対象外
支燃性/酸化性ガス	:分類対象外
高圧ガス	:分類対象外
引火性液体	:分類対象外
引火性固体	:分類対象外
自己反応性化学品	:分類対象外
自然発火性液体	:分類対象外
自然発火性固体	:分類対象外
自然発火性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
酸化性固体	:分類対象外
有機過酸化物	:分類対象外
金属腐食性物質	:分類対象外

健康に対する有害性:

急性毒性—経口	:区分外
急性毒性—経皮	:区分外
急性毒性—吸入(ガス)	:分類できない
急性毒性—吸入(蒸気)	:区分外
急性毒性—吸入(粉塵/ミスト)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分3
眼に対する重篤な損傷性/刺激	:区分外
呼吸器感作性(個体/液体)	:区分外
呼吸器感作性(気体)	:分類できない
皮膚感作性	:区分1
生殖細胞変異原性	:区分外
発がん性	:区分外
生殖毒性	:区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	:区分2 (肝臓、心血管系)
吸引性呼吸器有害性	:区分外

環境に対する有害性:

水生環境急性有害性	:区分3
水生環境慢性有害性	:区分3

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:危険

危険有害性情報:

- ・軽度の皮膚刺激性
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・水生生物に有害

注意書き:

安全対策:

- ・本来の用途以外に使用しないこと。
- ・使用前に取扱説明書を手し、すべての安全性注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱後は手洗い及びうがいを十分に行うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・汚染された作業衣は密閉袋に入れて作業場から出すこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・適切な保護手袋及び保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用すること。

応急措置:

- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- ・緊急の解毒剤の投与が必要な場合は、直ちに特別処置を実施する。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯し、汚染の除去をすること。
- ・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けること。
- ・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理をすること。

保管:

- ・施錠して子供の手の届かない所に保管すること。
- ・容器を密閉して日光の直射を避け、換気の良い場所で保管すること。

廃棄:

- ・内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- ・内容物や容器は、産業廃棄物として許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分:混合物(樹脂・陶磁器質骨材粒・大理石粉粒・着色珪砂・水)

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法:

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
アクリル合成素樹脂エマルジョン	非公開	10~20	—	—	—
フタル酸ジ-n-ブチル	84-74-2	0.1~1	—	—	1-270
炭酸カルシウム	471-34-1	5~40	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合:

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- ・ 汚染された衣類を取り除くこと。

目に入った場合：

- ・ 直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・ まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 直ちに、医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

- ・ 適切な保護手袋及び保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- ・ 換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤：水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他

消化方法：この物自体は不燃性で火災の危険性はない。ただし、水が蒸発した残分は可燃性である。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・ 作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にし、関係者以外を近づけないようにして、二次災害を防止する。

環境に対する注意事項：

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法／機材：

- ・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 - ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
 - ・ スコップ・ウエス等で回収する。
 - ・ 大量の流出は盛土で囲って流出を防止する。
 - ・ 水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れがあるので注意する。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・ 換気のよい場所で、取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 取扱い後は、手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・ 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用する。
- ・ 過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

保管：

- ・ 日光の直射を避ける。
 - ・ 風通しのよいところに保管する。
-

8. 暴露防止及び保護措置

保護具：

設備対策：

- ・ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

呼吸器の保護具：

- ・ 防塵マスクを着用する。

手の保護具：

- ・ 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具：

- ・ 取扱いには、保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：

- ・ 取り扱う場合は、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

管理濃度／許容濃度：

化学物質名

暴露管理基準ppm

暴露管理基準mg/m³

skin

アクリル合成素樹脂エマルジョン

フタル酸ジ-n-ブチル
炭酸カルシウム

化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
アクリル合成素樹脂エマルジョン			
フタル酸ジ-n-ブチル		5	
炭酸カルシウム		10	

化学物質名	IARC
アクリル合成素樹脂エマルジョン	
フタル酸ジ-n-ブチル	
炭酸カルシウム	

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	: 液体
色	: 白色
臭い	: 僅かにアンモニア臭
pH	: 8~9
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点、沸騰範囲	: データなし
引火点	: なし
自然発火温度(発火点)	: データなし
燃焼性(個体、ガス)	
燃焼または爆発範囲の上限/下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	:
比重(相対密度)	: 1.4~1.8 (20℃)
溶解度	
水に対する溶解度	: 水で希釈可能
水に対する溶解性	:
溶媒に対する溶解度	:
溶媒に対する溶解性	:
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

・安定性	: 通常条件では安定
・危険有害反応の可能性	: 特記すべき反応性はない
・避けるべき条件	: 特になし
・混触危険物質	: 特になし
・危険有害な分解生成物	: この物自体は燃えないが、塗膜が燃えた場合はCO等の有毒性ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性		
・アクリル合成素樹脂エマルジョン		
経口	: 分類できない	
経皮	: 分類できない	
吸入 ガス	: 分類できない	
吸入 蒸気	: 分類できない	
吸入 粉塵/ミスト	: 分類できない	
・フタル酸ジ-n-ブチル		
経口	: 区分5	6300 mg/kg
経皮	: 区分外	>20000 mg/kg
吸入 ガス	: 分類対象外	
吸入 蒸気	: 分類対象外	
吸入 粉塵/ミスト	: 区分外	>15.68 mg/l

- ・炭酸カルシウム
 - 経口 : 区分外 6450 mg/kg
 - 経皮 : 分類できない
 - 吸入 ガス : 分類できない
 - 吸入 蒸気 : 分類できない
 - 吸入 粉塵/ミスト : 分類できない
- ・皮膚腐食性/刺激性
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分3
- ・眼に対する重篤な損傷/刺激性
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分2B
- ・呼吸器感作用性又は皮膚感作用性
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1
- ・変異原性(生殖細胞変異原性)
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分外
- ・発がん性
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分外
- ・生殖毒性
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分2
- ・特定標的臓器/全身毒性-単回暴露
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1 (腎臓, 神経系)
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分2 (気道刺激性)
- ・特定標的臓器/全身毒性-反復暴露
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1 (呼吸器)
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分2 (精巣, 肝臓)
- ・吸引性呼吸器有害性 : ー
- ・組成物に関する有毒性情報 : 皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。
- ・製品に関する有害性情報 : 製品としての安全性試験を行っていない。

12. 環境影響情報

- ・成分の水性環境有害性情報(環境有害物質を対象)
 - 水生環境有害性(急性毒性)
 - アクリル合成素樹脂エマルション : 区分2
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1
 - 水生環境有害性(慢性毒性)
 - アクリル合成素樹脂エマルション : 区分3
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分外
- ・生態毒性 : 混合物としてデータなし
- ・残留性・分解性 : 混合物としてデータなし
- ・生体蓄積性 : 混合物としてデータなし
- ・土壤中の移動性 : 混合物としてデータなし
- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装:

- ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

共通:

- ・取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送:

- ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

- ・荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。

海上輸送:

- ・船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送:

- ・航空法の定めるところに従うこと。

その他:

- ・国連番号 : 該当なし
- ・指針番号 : 該当なし

15. 適用法令

使用において、都道府県条令に該当の場合、条令に基づき取り扱うこと。

- ・消防法 : 該当なし
- ・毒物及び劇物取締法 : 該当なし
- ・労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
法第57条の2 施行令第18条の2 別表9
フタル酸ジ-n-ブチル(政令番号 第479号)
- ・化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
: 第1種指定化学物質
法第2条 第2項 施行令第1条 別表第1
フタル酸ジ-n-ブチル(政令番号 第270号)
- ・船舶安全法 : 該当なし
- ・航空法 : 該当なし

16. その他の情報

引用文献:

- ・原材料用物質データベース 日本塗料工業会編集
- ・溶剤ポケットブック
- ・危険防災救急便覧
- ・国際化学物質安全カード(ICSC)
- ・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)] 日本塗料工業会編集
- ・モデルSDS・モデルラベル事例集[混合物(塗料用)] 日本塗料工業会編集
- ・JIS Z 7250₍₂₀₀₅₎
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) 公開データ
- ・GHS対応による混合物(化学物質)のSDS作成手法の研修テキスト(改定版) 中央労働災害防止協会
- ・製品安全データシート 各原材料製造会社発行

その他:

- ・このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」を示しています。
- ・PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0. 1%以上の場合に対象となります。
- ・PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。